

理事会だより

12月12日(木) 15時から通常理事
会が実施された。理事長より、理事
長就任以来考えてきたことだが、偕
行社を陸自出身者が継承するにあた
りどうするか。それにはまず陸自幹
部OB・OG会を作ることだ。それ
なくして偕行社の成長もない。ある
組織を卒業したら全員そのOB・
OGである。会費は志のある人が払
えばよい。簡単ではないが夢のある
組織にしていきたい。

第1号議案「令和2年度事業計画
書」について総務委員長廣瀬理事よ
り、報告があった。方針に「新たな
態勢への円滑・着実な移行に留意す
る」という文言を入れ新態勢移行準
備の年であることを明示した。主要
考慮事項として、(1)慰霊顕彰では、
靖國神社の英霊の慰霊顕彰を重視す
る。(2)自衛隊に対する協力では、「陸
自に対する協力を着実に実施し、偕
行社の理解の促進と陸自との一体感
の醸成に留意」という文言を入れた。
(3)会勢の拡大では三木・尚友会の幹
部自衛官、民間企業及び民間有志の
賛助会員の入会促進に努める旨記述
された。(4)効率的な事業の実施、こ

れは新しく設けた項目であり新たな
態勢の準備と支出の削減のため、「新
たな態勢を念頭に各事業を抜本的に
見直し、偕行社の目的を効率的に達
成する事業を実施する」と述べられ
ている。(5)予算収支の改善、令和2
年度の収支を改善する。(6)各地偕行
会との協力では協力要領について試
行をおこなう。(7)将来態勢について、
検討成果の早期具体化を図る。

第2号議案について財務委員長林
理事より令和2年度偕行社収支予算
書の説明があった。当年度の経常収
益見積額は、財産運用収益、会費収
益、事業収益それぞれ前年度より減
で、合計735万円減収の6千53
3万円である。これに対し見積もつ
た経常費用は9千745万円で、前
年より630万円削減したが、収益
との差3千212万円の赤字となる。
第3号議案「令和2年度細部事業
予定表」について事務局長より説明
があった。

第4号議案「将来態勢検討の成果
について」の説明が廣瀬理事より
あった。成果は来年6月の評議員会
において承認を受け、実行に移され
る予定である。

各号議案はそれぞれ承認された。